

特集 公正と安全を守る分析化学

《特集》「公正と安全を守る分析化学」企画にあたって

分析化学は、様々な有害物質等の取り締まりや防止にあたっての科学的な根拠を提供することによって、正しい社会の維持さらには国民の安心・安全に貢献しています。例えば、依存性を持つ麻薬・覚せい剤や危険ドラッグは、摂取した本人の精神及び身体に悪影響を及ぼすだけでなく、社会全体の問題を引き起こす可能性があります。品質・有効性・安全性の確認がなく、不衛生で有害な不純物が含まれている可能性がある無承認無許可医薬品は、人々の健康への願望につけ込み、逆に健康被害を誘発する場合があります。また、スポーツ競技におけるドーピングは、競技の公正性を損なうものです。これらの物質のみならず、私たちの生活環境（水、大気、土壌など）に存在する様々な有害物質・有害因子は、分析化学を基盤として管理または監視されています。

そこで本特集では、環境分析・スポーツ科学、法医学・裁判科学などを例に取り上げ、対象物質が科学的に「安全」（または「安全とはいえない」と判断されるまでには、どのような分析から評価が行われているのか、分析結果をどのように解釈するか、測定値の信頼性の根拠はどこにあるのか、という観点から、市民に「安心」と判断されるためには分析化学としてどのような取り組みが必要か、ご紹介いただくことを企画いたしました。

本特集での企画を機にして、公正性、安全性に関する分析化学の取り組みに関して、一層の理解と利用が深まることを願っています。

「ぶんせき」編集委員会

特集 公正と安全を守る分析化学

核不拡散・核セキュリティに利用される微量分析技術	江坂文孝
化学兵器用剤の現場分析技術	瀬戸康雄・橋本亮太・大類保彦
人為的災害で必要とされる分析技術	金谷泰宏・江藤亜紀子
土壌・地下水汚染の分析化学	駒井 武
刑事裁判と科学鑑定および DNA 鑑定	勝又義直
競走馬のドーピング検査	森 美和子
スポーツドーピング検査	岡野雅人・池北紋子
無承認無許可医薬品による健康被害を防ぐ分析技術	丸山卓郎
危険ドラッグによる健康被害を防ぐ分析化学	花尻（木倉）瑠理
救急医療現場で求められる簡易薬毒物検査	奈女良 昭・斉藤 剛
急性中毒の原因究明や治療に役立つ分析技術	福本真理子